

特別助成 熊本地震復興支援事業

## 「子どもの笑顔をつくる『移動遊園地』プロジェクトin熊本」事業

### 参加して楽しむ遊びイベントを開催して熊本地震被災地の子どもたちを笑顔に

熊本地震で被害の大きかった熊本県菊池郡大津町で「オーズコドモカーニバル」が開催された。「被災した子どもたちが笑顔になれる場を」と、「NPO法人グリーンバード」が主催して本年度2回目。競技やゲーム、ワークショップ、バザーなどが楽しめ、スタッフの一員として仕事体験もできる。子どもたちが参加して楽しむイベントとなった。



子どもが思いっきり遊べるイベント「オーズコドモカーニバル」を開催



イベントを告知するチラシ

### 全国約80チームのネットワークを生かして被災地支援活動を展開

「NPO法人グリーンバード (green bird)」は「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに、全国に約80チームを組織して清掃活動を展開している団体である。東日本大震災以降はそのネットワークを生かして被災地の人たちと交流しながら、宮城県仙台市の泥かき作業・農作業補助や、福島県いわき市で「オーガニックコットンプロジェクト」などの支援活動を行ってきた。そして、2016年4月に発生した熊本地震。たまたま熊本チームのメンバーに被害の大きかった大津町の役場職員がいたことから、すぐに現地の状況が伝えられ、熊本近隣チームの有志を募り支援活動を開始した。有志の一人、福岡チームの谷村真澄さんは次のように話す。

「被災地でいろいろ見聞きして見てきたのが、子ども

たちの心のケアの問題でした。余震への不安や恐怖で寝付きが悪くなった子がたくさんいて、同様にその親が抱える不安やストレスも深刻になっていました。そこでグリーンバードとしてできることを話し合い、『子どもが笑顔になれば、みんな笑顔になる』をコンセプトに、子どもが思いっきり遊べるイベントを開催することにしました。年に一度の移動遊園地を楽しんでもらえたらいいなと思いました」

こうして「オーズコドモカーニバル」は、大津町、現地の「NPO法人こども・サポートみんなのおうち」の協力のもと、大津中央公園を会場に2016年7～8月に3日間開催されて好評を呼び、さらにAJOSCの助成を得て2017年の11月3～5日の開催が実現した。当初9月の開催予定も台風で延期を余儀なくされたが、期間中1,000人以上の親子が来場した。

### 子どもスタッフと限定通貨を導入した参加型イベントを開催

イベント会場は、ミニ遊園地エリア、競技場エリア、ワークショップエリア、バザーエリア、縁日エリアなどに分かれ、それぞれに子どもが楽しめるコンテンツが盛りだくさん。基本的な構成は前年と同じだが、今回はさらに「子どもが主体となってイベントに参加できるような仕組み」を取り入れたという。それがイベント限定の通貨「オーズ」の導入だ。会場内で遊ぶにはオーズが必要で、入場料500円で3オーズとオリジナルウォレットがもらえるほか、使わなくなったおもちゃなどを持ってくとオーズと交換でき、それを使って竹ぼうくりレースなどの競技や、アクセサリ作りや工作が楽しめるワークショップに参加したり、バザーで買い物をすることができるといった仕組みだ。

さらに、今回は子どもの運営スタッフを募集し、イベントの手伝いをしてくれた子どもたちには報酬としてオーズが支払われる。子どもたちが初めての仕事体験、ボランティア体験ができるよい機会となり、小学生から高校生まで20人近くがスタッフとして参加した。

イベントを振り返り、谷村さんは「たくさんの笑顔と子どもの可能性が感じられた3日間だった」という。

「今回はただ遊ぶだけでなく、イベントに参加しているという実感が大きかったのだと思います。子どもたちは皆とても満足そうでした。特にスタッフとして参加した子は、自分から仕事を見つけてどんどん主体的に動いてくれるようになり、1日でかなりの成長を見せてくれました。そして、そんな子どもたちを見守る親御さんも本当にうれしそうでした。次につながるイベントになったと思います」



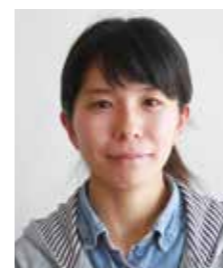
子どもたちが楽しめるように工夫をこらしたコンテンツが盛りだくさん



イベントには数多くの親子連れが訪れた

助成団体: 特定非営利活動法人 green bird

<http://www.greenbird.jp>



### 子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました

熊本地震発生2年目となり各方面からの援助が減るなか、助成をいただけて本当に感謝しています。おかげさまで2016年に続いてさらにバージョンアップした内容でイベントを開催することができ、子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。今後も地域の方たちが主体的に参加できるような支援活動を続けていきたいと思っています。

NPO法人 green bird  
谷村真澄さん